

まきもの
≡二巻物をつくるう①
伊藤若冲《菜蟲譜》
古澤記念美術館

作者(かいたひと)：
伊藤若冲
いとづじやくちゆう
作品名(まのなまえ)：
《菜蟲譜》だいぢゆうふ
絵をかいた年：
一七九〇年頃
(230ねんぐらいまえ)
★佐野市立
古澤記念美術館
よひざわきねんびじゆつかん
にホンモノがあります
京都で、野菜に関係
ある仕事をしていて
絵がまさんになつた
若冲さんが、
七十七歳のとき、
ともたちへのお礼に
かいた絵です。
100種類ぐらゐの
野菜やくだものど、
50種類ぐらゐの
しきものがかかれて
います。
これは長い巻物の、
一部分ですが、
古澤記念美術館では
だしよから
だしよまでの
≡三巻物が作れます。
またこんど
あそびにきてねー

ホンモノは
もこと大きいよー
みられるときは
ホームページで
おしらせします。



ボクがどこにいるかわかるかな？



のりしろ



のりしろ



のりしろ
(しんをはる)

■まきもの■

- ①この紙を
うすむす。
- ②竹ひしかストローを
5センチぐらゐに
切つたもの
(「しん」にします)
- ③きれいな紙を
4×7センチに
切つたもの
(巻物に巻く
表紙にします)
- ④きれいな色の
わじも
※かんはる人は細めの
やわらかいひもやりボ
15センチぐらゐ
(りりあん糸がおすめ)

■つくりかた■

- ①この紙を黒い線
ところで切る。
- ②「のりしろ」に
のりをぬつて3枚の
紙をつなげる。
※絵をすしううらせ
あるので、かたねてはる
- ③できた「長い紙」
の右はしに
「きれいな紙」を
はこて「表紙」を
つくる。
つうらがわを表
(絵の見える方)
にして、はる。
※はきは絵と重ねな
かたら切つておむす。
- ④左はしの
「しんをはる」の
ところののりを
しつかりぬつて
左はしから
竹ひしかストロー
にまきつける。
- ⑤しばらくのりを
かわかしたあと、
左から巻いていく。
- ⑥わじもでとめて
完成！

※かんはる人はわじもの
かわりにひもやりボを
この「表紙」につける。
くわしくは
美術館サイト内
「おうちで書画」の
写真を見てください。